

令和4年度学校自己評価システムシート（わせがく夢育高等学校）

目指す学校像	本校の教育スローガン〔自由・個性・夢育〕を基幹にし、令和4年度は次のような学校を目指し、本校の特色を明確化していく。 (1) 生徒一人ひとり夢、人権及び個性がお互いに十分に尊重され、いつも楽しい雰囲気にあふれる学校。 (2) 生徒が卒業までに、自立して生活できるように、人としての基礎基本（各教科の基礎学力・基本的生活習慣・社会的人間性等）を身につける学校。 (3) 地域を理解し、地域に貢献し、地域に信頼される学校
--------	---

重点目標	(1) 出席率の向上 (2) 退学者の減少 (3) 資格取得の奨励 (4) 進路決定率の向上 (5) 部活動の充実 (6) 本校（通信制課程）理解の促進
------	---

達成度	5	達成(100%以上)
	4	ほぼ達成(95%以上)
	3	概ね達成(90%以上)
	2	変化の兆し(70%以上)
	1	不十分(70%未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

学校自己評価						
年度目標			年度評価(3月31日現在)			
番号	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	本学園の設立趣旨から数値的重点目標をつくり作成。	出席奨励の連携を積極的に行い、生徒面談・保護者面談を充実させる。	皆勤者を63名以上とする	皆勤者数は31名。	1	達成度が5割を切っているため、センター長、教育相談室を中心に対応を考える必要がある。職員会議の生徒状況報告を密に行い、センター長、教育相談室の適切な指導の下、意識改革を行いたい。
		長期欠席を未然に防ぐため、必要に応じて家庭訪問を実施し、生徒の通学意欲を向上させる。	生徒状況調査で全日型生徒を20%未満とする	全日型生徒は34%。	1	
2	本学園の設立趣旨から数値的重点目標をつくり作成。	生徒面談・保護者面談を充実し、生徒の学校不適応の行動を見逃さない。	退学者4名以下とする	退学者は6名。	1	人数の増加に伴い、生徒対応、保護者対応が煩雑にならないよう、学級担任のみならず、該当センター長、生徒指導部、教育相談室の協力のもと、退学者、転出者の減少に取り組んでいき、目標達成を図りたい。
		保護者との連携を強化し、常に適切な連絡を家庭と取り合う。	転出者を3名以下とする	転出者は無し。	5	
3	本学園の設立趣旨から数値的重点目標をつくり作成。	生徒の学習意欲を高める検定の実施。	受検者数延べ200名	受検者数は延べ113名。	1	受検者数は学習センターによって取り組みに差が出ている状況であるため、受検強化月間を設けるなど、統一の方針をもって取り組む必要がある。
		資格取得のための学習を提供する。	各種検定合格者延べ27名	各種検定合格者は延べ68名。	5	
4	本学園の設立趣旨から数値的重点目標をつくり作成。	個々に応じたきめ細かな進路指導を行う。	進路決定率80%以上	進路決定率は85%。	5	進路決定率、参加率は達成の状況にあるため、進路指導部を中心に引き続き今年度と同様、きめ細かな進路指導に取り組んでいきたい。Marchクラス以上現役合格については開校年度で生徒数が少ない状況であったため、今後達成できるよう難関大対策に向けての補習や早稲田予備校との連携を強化していきたい。
		適性検査・学力検査・進路ガイダンス等を早期に実施し、進路に対する意識を高める。	参加率70%	参加率は69%。	5	
		早稲田予備校との連携を図る。	marchクラス以上現役合格延べ4名以上	marchクラス以上の現役合格者は無し。	1	
5	本学園の設立趣旨から数値的重点目標をつくり作成。	部活動の活性化に努め。生徒に充実感、達成感を持たせる。	全国大会での入賞1部以上	全国大会で入賞した部活は無し。	1	開校年度のため部活動の人数もまだ少ない状況であった。次年度は所沢学習センターの開設も含め、部活動全体の活性化が見込める。生徒のアンケートについては良い数値が出ているので、加入者数を伸ばせるよう、積極的に参加の促しをしていきたい。
		部活動を通し、教職員と生徒及び生徒相互の人間関係を深める。	学校評価アンケートで45%以上の同意	学校評価アンケートで60%が同意。	5	
		部活動、同好会の加入者延べ数を210名とする。		部活動、同好会の加入延べ数は80名であった。	1	
6	本学園の設立趣旨から数値的重点目標をつくり作成。	全教職員が協力して、地域の中学校・高等学校の教職員との連携の強化を図る	生徒在籍報告 中高 を年2回以上すること	生徒在籍報告を87%実施した。	2	生徒募集については学校訪問数を増やし、出願許可書の発行枚数の目標値を達成していきたい。担当者の担当エリアの必須訪問数を決め、取り組む必要がある。そのためにも生徒募集会議を定期的を実施し、必須訪問数の達成状況を確認していきたい。
		学校見学会・個別相談会を各キャンパスと情報を共有し企画改善を図る。	新入出願許可書発行数300枚以上	出願許可書発行数は198枚であった。	1	
		HP・SNSの充実を図る。各校舎のHP・SNSの更新を週1回以上とする。		2/2校舎が達成。	5	

学校関係者評価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	